



—基本判例から学ぶ労務トラブルの防止のための留意点—

就業規則の取扱い、労働契約上の合意

今回のセミナーは、最近の相談事例や裁判例を踏まえて、実務上トラブルになりやすいテーマについて、法律的な理解を深めるとともに、トラブルを防止するためにはどのような対策を講じておくべきか、また、実際にトラブルが発生した場合にどのような対応を考えるべきかということを学んで行きたいと思います。

今回は、就業規則の取扱いと労働契約上の合意という2つのテーマを取り上げます。いずれも基本判例の理解を前提にあらかじめの対策が肝要となるテーマですので、各社での再点検にお役立て下さい。

日時 令和8年3月25日(水)
午後3時～5時

講師 弁護士 山中 健児
(石寄・山中総合法律事務所代表弁護士)

開催方法 WEB開催

定員 100名

(Microsoft Teams meeting を使用)

対象者 企業の経営者、人事担当者、現場管理職

参加費 5,500円(税抜5,000円)

※石寄・山中総合法律事務所の顧問先企業は1社あたり4名様まで無料とさせていただきます。

申込方法 以下のリンク先よりお申し込みください(申込み〆切り3月19日(木))。

<https://forms.office.com/r/AactQnNvcY>

【講義プログラム】

1. 就業規則の取扱いを巡る諸問題

- (1) 就業規則の基本的理解
ア 労働契約との関係 イ 基本判例の紹介
- (2) 就業規則の「周知」
ア 周知性が問題となるケース
イ 裁判例の検討
- (3) 就業規則と「内規」との関係
ア トラブルになりやすいケース
イ 裁判例の検討

2. 労働契約上の合意を巡る諸問題

- (1) 合意と法律の関係
- (2) 労働者の「自由意思」同意論
ア 基本判例の紹介
イ どのようなケースで問題となるか
- (3) 退職後の競業禁止義務の有効性
ア 有効性の判断基準
イ 違反事例への対応策
ウ 裁判例の検討

【次回以降の開催予定】 令和8年5月20日(水)、6月24日(水)、7月29日(水)

いずれも午後3時～5時